

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

1月中旬、日課にしている早朝の5時のニュース映像画面に津波警報の文字。確かな情報が伝わって来ない中、東北大震災で発生

した大規模な津波被害実態が鮮明に脳裏を駆け巡る。南太平洋のトンガ諸島で発生した大規模な海底火山の噴火は世界でも100年1000年に1度あるかないかというような大きな噴火だ。

どの様な影響が出るのかと心配になる。また大気中の粉塵で太陽光が遮断され、太陽光発電も心配で脱炭素社会の実現に大きな課題だ。

先週には、西オーストラリア沿岸の町オンズローでは最高気温50.7度、オーストラリアで気温が50度超えとなったのは、これまで観測史上3度だけだったが、今回は1日に3カ所、さらに厳しい

地域財政に大きな課題になるだろう。新型コロナウイルスの新規感染者が連日大きく伝わってくる。白馬村も人口当たりの発生率は驚く程高い。続く2ヶ台の感染情報から、「客足が遠のいた」との声も頻りに伝わり、地域経済全体の今後が心配になる。

世界全体の課題に立ち向かう社会が今求められている

1991年北半球でのフィリピン・ピナトール火山の噴火では、噴出物が成層圏に大量に放出、太陽の光が遮られて世界的に気温が下がり、2年後には記録的な冷夏となり、日本ではコメが大凶作でタイ米を緊急輸入する事態になった。今回は南半球で起きたため、

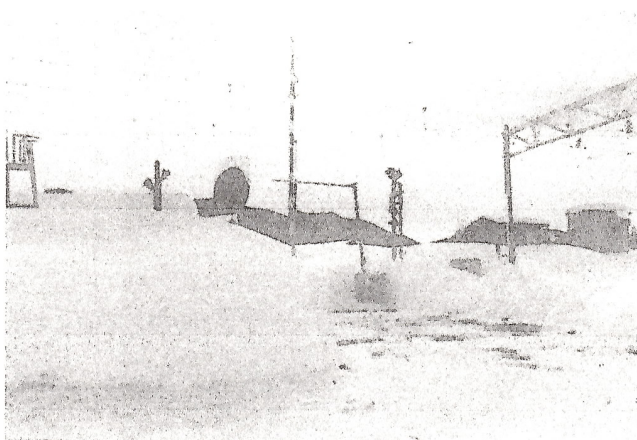
周辺にまき散らされた軽石の被害は記憶に新しいが、今回の規模は極めて大きく、広範囲に被害が予想され農畜産物の被害によって世界的な食料供給問題が大きな関心を生むだろう。

い暑さがやってくるとの予測だ。日本でもラニーニャ現象の発生が冬の終わりまで続くとの情報だ。我が家でも今年は毎日除雪機が活躍、燃料費は家計に重くのしかかるが道路除雪などの除雪作業が、

また全国で40の旅館や日帰り温泉施設を運営する大江戸温泉物語ホテルズ&リゾートに投資していた米投資ファンドのベイン・キャピタルが売却手続きを行ったとの情報。コロナ禍で交渉が難航

した可能性もあるこの事だ。今後、海外投資家の日本に対する投資効果の見直しによる、投資引き上げが起きる可能性が現実化すれば、

海外客をターゲットにした戦略が改めて問われる事になるのだろう。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



降雪により安全確認が困難な箇所地域住民が支援する体制の必要性が日毎に増している